

令和7年度 島田市青少年育成支援センター運営協議会被表彰者一覧

【個人の部】

(敬称略)

	被表彰者	活動の内容
1	(故) とみなが ながお 富永 長雄	<p>平成 24 年度から令和 6 年度までの 13 年間、島田市青少年育成支援センター運営協議会の育成補導委員として従事され、夜間街頭補導をはじめ、登下校中の声掛けや、学校校門でのあいさつ運動などに積極的に参加し活動された。</p> <p>さらに、令和 2 年度から 6 年度までの 5 年間は副会長として会長を支えながら、市内の青少年の健全育成に、長きに渡り貢献していただいた。</p>
2	おおつか とうえい 大塚 東瑛 おおつか はるみ (本名:大塚 治美)	<p>島田市内小学校・中学校の授業において、箏（こと）や三味線の文化を若い世代に伝えるべく、長きに渡り、体験教室を行ってきた。特に、初倉小学校、初倉南小学校では、現在も、クラブ活動の時間を通して、子供たちに日本文化である三味線の歴史や多様な音色、楽しさや魅力を教えている。</p> <p>また、三味線世界大会を三連覇しているハレルヤ氏（大塚晴也氏）の祖母であり、幼少期には指導も行っている。</p> <p>さらに、島田市民文化祭に 50 年以上、初倉まつりに 40 年以上出場するなど、市内や地域のイベントへ積極的に参加し、地域振興のため尽力され、三味線の多彩な音色で人々を魅了し、伝統を未来に継承すべく活動を継続している。</p>

【団体の部】

(敬称略)

被表彰団体	活動の内容
1 島田第一小学校 読み聞かせボランティア・図書ボランティア	<p>平成 18 年頃から、いずれも児童の豊かな読書活動を支える応援団として、活動が始まった。読み聞かせボランティアは、児童が多様な絵本や物語に触れる機会を提供し、豊かな感性と言葉の力を育んでいくことを目的に活動を行っている。</p> <p>活動人数は毎年 20 名程度の参加があり、年度により活動回数は異なるが、週 1 回の活動から年間 14 回の活動など、校内で実際に、子供の表情を見たり、読み聞かせを通じて児童の声を聞くことを楽しみに活動している。</p> <p>また、図書ボランティアは、図書室の掲示物や展示など、身近で親しみやすい学校図書室の雰囲気づくりや児童が読書への興味を育むための環境整備を行っている。</p> <p>校舎新築の際には図書の整理などにも貢献され、現在は、北部 4 校のボランティアも加わり、児童が集中して読書や学習、交流ができる空間づくりに努めている。</p>
2 県立島田工業高等学校 情報電子科 放送技術班	<p>島田工業高校は、阿知ヶ谷地区内にある地域産業の発展に貢献する工業技術者の育成をめざして創立された歴史ある学校で、学習や部活動、技術力の向上、地域連携などさまざまな分野において、より専門的な、高度な技術に挑戦するとともに、豊かな感性の育成に努めている。</p> <p>特に、この情報化社会を支える重要な技術の一つである放送技術を学ぶ情報電子科放送技術班は、島田市内のイベントや行事等を実践の場として、下見から準備、撮影、ライブ配信、編集と、一連の映像の記録に貢献している。</p> <p>具体的には、1 月開催の島田市はたちの集いでは、コロナ禍であった令和 2 年度から令和 6 年度まで、インターネットを通じたライブ配信をしているほか、8 月開催の島田市平和祈念式典では、令和 3 年度から、また 9 月開催の鼈祭りでは令和 4 年度から 3 年間、3 年に 1 度の島田大祭の記録映像をとおして生徒自らの撮影技術を学ぶとともに祭りを盛り上げている。この活動は、青少年健全育成分野から平和教育分野、地域の歴史文化資源の記録保存等、公共心をもって地域振興、社会奉仕に尽くしている。</p> <p>一方で、このような舞台音響などの技術を応用して、生徒たち自らが、「アルツハイマー型認知症緩和装置」や「劇場用舞台照明・音響デジタル信号同時送受信装置」などを開発し、学びの成果が、企業からも高い注目を受けている。</p>